

議題1 令和6年度 若年技能者人材育成支援等事業の進捗報告について

1. 地域における技能振興事業

(令和6年11月末現在)

区 分	事 項
1. 技能五輪全国大会予選の実施等	<p>(1) 技能五輪全国大会の予選の実施 技能五輪「電気溶接」「電工」の2職種について地方予選大会の実施を予定していた。両職種について以下のとおり実施を予定している。 実施時期 令和7年2月上旬頃</p> <p>(2) 技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会への参加支援の実施 ア. 第19回 若年者ものづくり競技大会 若年者ものづくり競技大会参加者のうち、中小企業の従業員、学生及びそれらの指導者の旅費並びに工具等の運搬費の援助を行った。 開催地 群馬県他 開催日 7月31日(水)～8月2日(金) (一部職種については、競技を先行して実施) 支援対象者 選手 9名、指導者 6名 イ. 第62回 技能五輪全国大会 技能五輪全国大会参加者のうち、中小企業の従業員、学生及びそれらの指導者の旅費並びに工具等の運搬費の援助を行う。 開催地 愛知県 開催日 11月22日(金)～25日(月) (一部職種については、競技を先行して実施) 支援対象予定者 選手14名(手続き中)、指導者13名(同左)</p>
2. 卓越した技能者(現代の名工)の表彰制度の紹介コンテンツの作成支援	<p>卓越した技能者を表彰することにより、広く社会一般に技能尊重の気風を浸透させ、もって技能者の地位及び技能水準の向上を図るとともに、青少年が技能労働者の道に入職することを促進するため、中央技能振興センターが作成している令和6年度の被表彰者の技能を紹介するためのコンテンツについての作成支援を行う。 対象者 4名</p>
3. 「地域発! いいもの」応援事業及びグッドスキルマーク事業の休止に伴う対応	<p>「地域発! いいもの」認定制度及び「グッドスキルマーク」については、令和6年度の新規認定を休止することとなった。 両事業のいずれかの認定を受けた事業者から認定内容の変更、廃止等の相談を受けた場合は、中央技能振興センターに問い合わせるよう説明することとしたが、相談などはなかった。</p>

2. ものづくりマイスター等の認定・登録

区 分	事 項
1. ものづくりマイスターの開拓	<p>企業・業界団体の訪問等により、県内でマイスターの認定が少ない職種、認定がない職種、及び派遣要請が多い職種を中心に新規開拓に努めました。</p> <p>令和6年度ものづくりマイスター等認定者数（令和6年11月末日現在）</p> <p>1. ものづくりマイスター</p> <p>【新規認定者数】 5職種 4名（延べ人数 5名）</p> <p>（内訳）</p> <p>① 造園 1人</p> <p>② 仕上げ 1人</p> <p>③ 畳製作 1人</p> <p>④ メカトロニクス 1人</p> <p>⑤ シーケンス制御 1人</p> <p>（上記中、新規認定職種 1職種 メカトロニクス）</p> <p>【累計認定者数】 53職種 360名</p> <p>（同延べ人数 403名）</p> <p>2. ものづくりマイスター（IT部門）：（旧制度：ITマスター）</p> <p>【新規認定者数】 1職種 1名（延べ人数 1名）</p> <p>【累計認定者数】 4職種 12名</p> <p>（同延べ人数 15名）</p>
2. ものづくりマイスターに対する研修	<p>新たに認定されたものづくりマイスターに対して、実技指導の結果報告の作成方法等を含む指導技法等講習を必要に応じて実施する。</p> <p>指導技法等講習の実施にあたっては、中央技能振興センターが作成したカリキュラム及び教材を活用し、指導技法にバラツキが出ないように配慮して実施する。</p>

3. ものづくりマイスター等の活用

区 分	事 項
1. ものづくりマイスターの派遣による指導の実施	<p>企業や工業高校等からの若年技能者に対する実技指導の要請を受け、最適なものづくりマイスターを派遣し、技能競技大会の競技課題又はこの技能検定試験問題を基にした実技指導を行うとともに、材料費等の支援を行った。</p> <p>令和6年11月末日迄の累計実績は、以下のとおりです。</p> <p>1. ものづくりマイスター派遣（旧制度：ものづくりマイスター）</p> <p>(1) 件数 113件（うち、中小企業 32件）</p> <p>(2) 実施日数（延べ人数） 336日（ ” 84日）</p>

区 分	事 項
	(3) マスター派遣（延べ人数） 400日（ // 111日） (4) 受講者（延べ人数） 2,811人（ // 762人） 2. ものづくりマイスター（IT部門）：（旧制度：ITマスター） 派遣実績はありません。
2. 若者に対する「ものづくりの魅力」の発信	サポステの要請を受け、サポステの支援対象者を対象とした、ものづくりマイスターによる「ものづくり体験」等を実施することとしていたが、派遣要請がなかったため、実施しなかった。
3. 熟練技能者の派遣による指導の実施	ものづくりマイスターの対象分野に該当しない職種等について企業等から実技指導の要請を受けた場合、熟練技能者を派遣して実技指導を行っています。なお、令和6年11月末日迄の累計実績は、以下のとおりです。 開催件数（職種） 1件（フラワー装飾） 延べ日数 10日 延べ受講者数 90人

4. 地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営

区 分	事 項															
1. 連携会議の設置	福岡労働局、福岡県職業能力開発課、福岡県教育委員会、高齢・障害・求職者雇用支援機構、福岡県工業高等学校長協会、福岡県中小企業団体中央会、（一社）福岡県建設専門工事業団体連合会及び（一社）福岡県技能士会連合会をメンバーとした福岡県技能振興コーナー主催の連携会議を設置している。今年度の本会議の開催にあたっては、第1回会議は集合開催。第2回会議は書面方式にて実施予定。 令和6年度 福岡県若年技能者人材育成支援等事業連携会議委員名簿 （敬称略・順不同）															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>所属・役職</th> <th>氏 名</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福岡労働局職業安定部訓練課 課長</td> <td>吉武 朝太</td> <td></td> </tr> <tr> <td>福岡県福祉労働部労働局職業能力開発課 課長</td> <td>野田 亮子</td> <td>委員長</td> </tr> <tr> <td>福岡県教育庁教育振興部義務教育課 課長</td> <td>古島 裕太</td> <td>R6年度より</td> </tr> <tr> <td>福岡県工業高等学校長協会 会長</td> <td>井土 義徳</td> <td>R6年度より</td> </tr> </tbody> </table>	所属・役職	氏 名	備 考	福岡労働局職業安定部訓練課 課長	吉武 朝太		福岡県福祉労働部労働局職業能力開発課 課長	野田 亮子	委員長	福岡県教育庁教育振興部義務教育課 課長	古島 裕太	R6年度より	福岡県工業高等学校長協会 会長	井土 義徳	R6年度より
所属・役職	氏 名	備 考														
福岡労働局職業安定部訓練課 課長	吉武 朝太															
福岡県福祉労働部労働局職業能力開発課 課長	野田 亮子	委員長														
福岡県教育庁教育振興部義務教育課 課長	古島 裕太	R6年度より														
福岡県工業高等学校長協会 会長	井土 義徳	R6年度より														

区 分	事 項		
	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 福岡支部 福岡職業能力開発促進センター 所長	福田 拓治	
	福岡県中小企業団体中央会 事務局長	中島 元	
	(一社) 福岡県建設専門工事業団体連合会 会長	杉山 秀彦	
	(一社) 福岡県技能士会連合会 会長	黒木 一夫	
	<p>□第1回会議の開催（集合開催）</p> <p>1. 日 時 7月9日（火）</p> <p>2. 場 所 オリエンタルホテル福岡 博多ステーション 福岡県福岡市博多区博多駅中央街4-23</p> <p>3. 議 題</p> <p>(1) 令和5年度 若年技能者人材育成支援等事業の実施結果について</p> <p>(2) 令和6年度 若年技能者人材育成支援等事業の実施計画について</p> <p>□第2回会議の開催（書面方式）予定</p> <p>1. 日 時（回収日） 令和7年1月14日（予定）</p> <p>2. 議 題</p> <p>(1) 令和6年度 若年技能者人材育成支援等事業の進捗状況について</p> <p>(2) 令和7年度 若年技能者人材育成支援等事業の推進計画について</p>		